

5 住み良い地域づくり



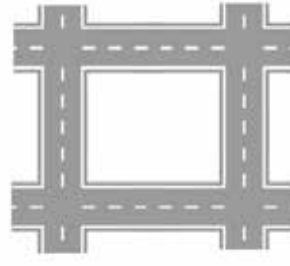
公共交通の利便性向上

AIオンデマンド交通の本格導入を視野に、高齢者等に配慮したより利便性の高い公共交通の実現を図ります。



空き家の利活用と適切な管理の促進

専門的な知見の更なる活用により空き家の利活用を促進するとともに、管理が不十分な空き家の解体費用を補助します。



道路ネットワークの強化

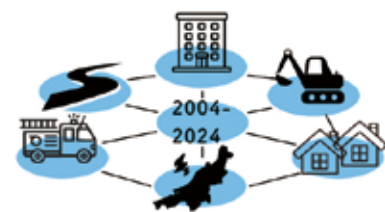
道路交通の円滑化を図るため、済生会新潟県中央基幹病院へのアクセス向上に向けた市道上須頃262号線の整備や、国道403号三条北バイパスの開通に伴い混雑が予想される市道大島荻島線の拡幅などに取り組みます。

6 災害に強いまちづくり



大規模災害の発生に備えた通信環境等の整備

市役所三条庁舎が災害対応の司令塔としての機能を失った際、本部機能を移す栄庁舎において通信環境を整備するほか、災害時に活用できる自走式仮設水洗トイレカーを配備します。



次世代への水害の教訓の伝承

7.13水害の教訓を伝承して備えに万全を期すため、国、県及び関係機関と総合水防演習を実施し、消防団や自治会等と連携した訓練などを行います。



家屋・道路への被害軽減のための雨水対策推進

雨水による家屋の浸水被害や道路の冠水被害を軽減するため、排水路整備などの雨水対策強化に向けた工事等を進めます。

7 変化に柔軟な行政運営の推進



市民総合窓口の利便性向上

市民総合窓口の手続をよりスムーズにするため、総合案内や証明書の交付等のサービスを集約したコンシェルジュデスクの設置や、申請書の記載を省略できるシステムの導入等を行います。

3 健康で心豊かに暮らせる環境づくり



地域医療の安定的な提供

医療の安定的な提供に向けて必要となる人材を確保するため、県と連携し、将来、医師として済生会新潟県中央基幹病院で働く医学部の学生に対して修学支援を行います。



带状疱疹ワクチン接種の助成

80歳になるまでに約3人に1人が発症すると言われる带状疱疹の予防のため、ワクチン接種費用を助成します。



がん治療を続けながら自分らしく暮らすための支援

がんの治療を続けながら自分らしく日常生活を送ることができるよう、医療用ウィッグなどの医療用補正具の購入費用を助成します。



重層的な支援体制の拡充

ひきこもりなどの相談も取りこぼすことなく対応できるよう、分野横断的に相談を受け止めて支援を行う重層的な支援体制を拡充します。



eスポーツを活用した介護予防及び多世代等交流促進

誰もが楽しめるeスポーツについて、高齢者のフレイル予防につなげるため、介護予防教室に導入するほか、世代や障がいの有無を問わない交流を促進するため、ユニバーサルスポーツの一環として大会等を開催します。



若者世代に対する歴史文化の魅力の発信

当市の歴史文化資源について、地元愛の醸成につなげるほか、来訪のきっかけとするため、高校生・大学生との意見交換等に取り組み、若者世代の感性に響くよう発信します。

4 全ての人の尊厳を守るまちづくり



互いを尊重し合える社会の形成

障がいのある人もない人も共に自分らしく暮らすことのできるまちづくりを進めるため、相互理解を深めるフォーラムの開催などに取り組みます。